

平成23年度職員採用試験（大学卒業程度）

畜産一般 専門記述試験（23.6.26）

= 課 題 =

○ 広島県畜産の核となる多様な担い手の育成について

本県では、「作ったものを売る」から「売れるものを作る」生産体制の確立をめざし、経営力の高い担い手を中心となった畜産の生産構造への転換を推進しています。

酪農、養豚、養鶏の各部門では、経営の大規模化や法人化が進んでおり、経営の信頼性と資本力の確保により安定した生産基盤を持つ経営体が多く存在しています。

一方、肉用牛繁殖経営は、依然として小規模で家族経営主体の生産構造にあり、担い手の高齢化の進展とともに広島牛産地の衰退が懸念されます。また、肉用牛肥育経営も海外からの輸入飼料等への依存度が高く外的要因に左右されやすいなど生産基盤が不安定なため、低コスト化やブランド化による市場競争力の強化が必要です。

これらの状況を踏まえ、肉用牛繁殖及び肥育の各部門において、それぞれどのような経営感覚を備えた担い手を育成・確保し、どのような視点で生産構造を再構築していくべきかあなたの考えを述べなさい。